細胞機能科学セミナー

オンライン聴講歓迎！

Molecular ensemble 2.0:

コラーゲン生合成における小胞体分子シャペロンたちの働き

＋ 海外での研究キャリア形成過程

演者：石川 善弘 博士

(Department of Ophthalmology, University of California, School of Medicine, San Francisco, CA, USA)

開催日時： 2020 年 12 月 18 日(金) AM10 時～AM11 時半頃

（途中退出可．11 時以降はキャリア形成に関する雑談・質問タイムも含みます）

開催形式： ZOOM によるオンライン Webinar（URL は下記までお問い合わせください）

コラーゲンは、3 本鎖らせんという比較的シンプルな構造を持ったタンパク質を指し、哺乳類生体内で最も豊富なタンパク質である。ところがこれらの特徴からは想像もできない複雑な生合成過程を経る特殊な分子である。この複雑な工程には、20 種類以上の多様性に富んだ酵素や分子シャペロンが関与する。この秩序だった分子システムは、Molecular ensemble と呼称されている[1)]。このシステムは 28 種類ある全てのコラーゲンにおいて共通しているのかなど、生合成の仕組みの謎に最新の知見を加えアップデートされた Molecular ensemble 2.0 として主に I 型・IV 型コラーゲンを中心に説明する。加えて、どのようにして 10 年以上アメリカに住みつき、現在サンフランシスコでの職を得るまでの謎の人生も紹介する[2)]。

1) Ishikawa Y., Bächinger H.P., ***Biochim. Biophys. Acta.*** 2013; 1833: 2479-2491

2) 石川博士は Webinar 主催者・北村の学生時代所属研究室の後輩で，また日本の大学に所属しながら海外の研究室で長期間研究し，日本の博士号を取得したという異色な（おもろい）経歴の持ち主です．米国在住関西人特有のフランクな人柄から繰り出される“おもろい”お話しと共に，若い学生さんも含め，キャリア形成の雑談にも対応していただけるとのことですので，ぜひご参加ください！

主催：北海道大学先端生命科学研究院　細胞機能科学研究室

問合せ先：北村　朗・金城　政孝

Tel: 011-706-9542　E-mail: akita@sci.hokudai.ac.jp